

# 広い地下収納と小屋裏で ゆとりある暮らしを実感

## 佐藤 邸

設計・施工/エスエー企画株式会社

渋川市赤城町津久田169-19

TEL.0279-56-3546



**佐藤**さんご夫婦が初めて展示場を訪れた時、床に張られた杉の無垢板に目を奪われた。

「その時住んでいたアパートでは、冬場は床が冷たくて、スリッパを履かないと暮らせませんでした。ところが、展示場では素足でも温かさを感じました。一目ボレでしたね」とご主人の隆さん。この杉板は、同社の岩崎代表が九州まで仕入れに出向いたというこだわりの一品だ。

### こだわりの地下 収納スペース

「『地下室』という、湿っぽい、薄暗いというイメージがありました。部屋よりも暖かくてカラッとしていたのにはビックリしました。普段使わないものや、大きくてかさばるスキー道具などの収納にぴったり。地下収納スペースは、配水管や水道管を直接見ることができんです。自分で確認できる安心感は大きいですよ」と隆さんは語る。

家全体の温度、湿度を快適に保つソーラーサーキット工法の特徴を生かすと、床下全体を一つの空間として利用できる。広い地下収納スペースは同社の住まいづくりの特長の一つだ。

「通常ですと、配管類の修理の時は、床板をはがしたり、構造材の一部を切る場合もあります。当社の場合、建物には手を付けずにチェックでき、また、リフォームの際も比較的簡単にできますね。さらに、蓄熱式暖房器を床下に置き、暖気が壁の間を巡るので、ヒートショックのない住まいになります」と岩崎代表は語る。



▲「担当者とは毎回楽しく打ち合わせできました。言葉では伝えにくいニュアンスも感じ取って形にしてもらい、バランスのとれた家になりました」と語る佐藤さん夫婦とエスエー企画の岩崎代表

### 施主と一緒に つくりあがっていく

同社の家づくりは、絵や模型などを使って一つ一つ細かく打ち合わせをし、施主と一緒にプランニングしていく。家族の住み方のクセや、使い勝手を細部に至るまで理解し、クロスや照明設備選びには、同社の洗練された照明や色彩設計力が表れている。

「部屋全体を同じ明るさにするのではなく、間接照明やスポットを使って、雰囲気のある空間にしたかったです。実際、仕事から帰ってきて、ほんわり優しい明かりの中に身を置くと、心身ともに癒やされますね」と隆さんは話す。

木の質感を生かした食器棚はオリジナルで、同社の木を扱う高い技術が生かされている。ダイニングカウンターのはすは、腰掛けたままあぐらになれるように、ご主人の友人に特別につくってもらった一点もの。子ども部屋のハンモックや、クロス選びなど、至るところに遊び心が散りばめられている。

「半年住みましたが、夏は風が流れ、冷え込む夜も家中暖かく過ごせます。高気密・高断熱の家の良さを感じますね。新しい家で初めての冬を過ごすのが楽しみです」と佐藤さんご夫婦は笑顔で語ってくれた。

「半年住みましたが、夏は風が流れ、冷え込む夜も家中暖かく過ごせます。高気密・高断熱の家の良さを感じますね。新しい家で初めての冬を過ごすのが楽しみです」と佐藤さんご夫婦は笑顔で語ってくれた。



▲開放感を出すためにオープンな間取りにした。収納を適所に配置し、室内はすっきりとしている。吹き抜けは、風の通路にもなっている



▲家に仕事を持ち帰った時、パソコンや書類を広げるコーナー。家で唯一明るい場所。良かった点はとの間に「ピンセットでトゲを抜く時!」とご主人



▲奥さまの希望で、ハンモックを使えるようにした。プラプラ揺れながら、日なたぼっこや読書が楽しめる



▲小屋裏の法的な面積に含まれない天井高140センチの空間をご主人の書斎とした。収納としても使うことができる

◆設計/エスエー企画(株)  
◆施工/同上  
◆建築工法/木造軸組工法

◆建築面積/65m<sup>2</sup>  
◆延床面積/103.75m<sup>2</sup>  
◆完成日/2008年6月